





1

2 教学改革計画	中期目標	担当責任者 (役職名等)		評価指数（2020～2024）					主な取り組み（2024 年度計画）	2024 年度及び中期計画期間の主な実績・評価等
				2020	2021	2022	2023	2024		
③カリキュラム改 革・キャリア支援 等	a)認定こども園として の教育課程の確立を目 指す	園長 主幹指導教諭	・「全体的な計 画」，年間保育・指 導計画の見直し ・年度当初に学年の 教育目標のポートフ ォリオを作成	4 月済 随時	夏休み 見直し 随時 検討中	4 月より 継続 7 月	継続	継続	認定こども園として教育と保育の切れ目のない 保育のあり方を意識して 教育保育ができるよ う進められるよう年度はじめに見直してスター トする。 学年の目指す教育保育内容を可視化することで 目標が共有することで方向性に揺らぎなくチー ム保育が進める。	年度始めに学年の保育内容を可視化するため ポートフォリオを作成。 意見交換しながら目標を具現化し，共有する ことで同じ考えの中で保育が進められた。 また，年に 2 回（4 月・8 月）は非常勤も含 めた全職員での園務会を実施することによ り，教育保育目標の共通理解やチーム力が広 がり職員全員で支え合い協力しながら保育が できた。
	b)認定こども園として の職員の資質向上のた めの施策	園長 主幹指導教諭 指導保育教諭 研修主任	・園内テーマ研修と 追跡研修の実施 ・公開保育・相互保 育参観 ・外部研修への参加	毎月	毎月	毎月	毎月	毎月	研修主任を中心に，「深めたい、極めたい、知 りたい」ことをテーマでにしチームを作り研修 方法等を主体的に取り組み実践しながら園内研 修として進める。 また、公開保育は、新人職員を中心に実施し、 実践と理論の 2 本立てで研修を積み資質の向上 に繋げる。併せて短大教員を講師として招聘す る。 保育のドキュメンテーション作成により教諭の 振り返りと保育の質の見極めと共有を図る。	外部研修の積極的な参加に加え，研修主任を 中心に毎月の園内研修を実施。 今年度は「遊びが育つ保育」をテーマに短大 教員を講師として招き実践と理論の 2 本立て で研修を行い資質向上に繋げてきた。 （助川先生・佐藤先生） 公開保育は新人職員を中心に年間 6 回実施。 附属園からの参加も多く，意見や情報交換が できお互いの保育の刺激となった。 また，嘔吐処理や人権擁護等，職員の共通理 解を図るための研修も計画的に実施した。
	c) 短大生や看護生の実 習	園長 主幹指導教諭 指導保育教諭	教育実習。臨地実習 行事実習	6,9 月 7,10,2 月	6,9 月 7,10,2 月	6,9 月 7,10,2 月	6,9 月 7,10,2 月	6,9 月 7,10,2 月	短大の教育実習園として幼稚園教育実習，行事 実習、授業、高校看護科の臨地実習等を今後も 実施。	学園としての人材育成のために積極的に受け 入れてきた。学生に指導することで職員の意 識や技術の向上にも繋がり互いに良い影響と なっている。
	d)高校生等へのキャリ ア支援	園長 主幹指導教諭 指導保育教諭	・教高校生見学会， 高校生インターシッ プ	6・10 月	6・10 月	6・10 月	6・10 月		人材育成のため保育士を志望する高校生の増加 の為に，姉妹校や近隣の高校のインターシッ プ等を積極的に受け入れていく。 大成高等学校教諭より年長児(額田保育園年長児 も参加)の作法を学ぶ機会を計画していく。	高校生のインターンシップについても積極的 に受け入れた。保育という仕事に魅力を感じ てもらい，将来の人材確保に繋げたい。
	d)特別カリキュラム		・小笠原礼法指導 ・幼児体育活動 ・英会話活動 ・小学校との連携接 続 ・教育関係機関との 連携	3 月末実 施 毎週 毎週 毎週	2 学期に 検討 毎週 毎週 随時	2 月末 毎週 毎週 8 月実施	2 月末 に実施 毎週 毎週 8 月 12 月 実施	2 月中旬 かさこで 予定 毎週 毎週 8 月 12 月 実施 毎月	子ども体操・英会話活動は引き続き進めていき たい。 保幼小の円滑な連携接続の実現に向け，積極的 に学校教員の保育体験を受け入れ実施する。ま た就学校体験を依頼し入学への不安の払拭がで きるよう進める。 卒園児と就学児との交流を実施し双方の成長支 援を図る。 支援教育センターや発達相談センター，市教委 就学指導委員会と連携していく。 保護者の悩みに寄り添い，適切な支援が行える よう努めていきたい。	礼法指導はコロナ後 2023 年度より再開。 年長児が就学前に作法を学ぶ機会として，大 成女子高等学校教諭に指導を依頼し，那珂地 区と笠間地区と交互に実施。 笠間実施の場合は職員が研修として参加し， 園児に指導していく。 子ども体育・英会話については子どもたちも 楽しく参加し，保護者からも好評である。 夏の小学校体験や五台小との交流を実施し， 就学へ不安が払拭できた。また，12 月に卒 園児との交流会を実施し，双方の成長支援を 図ると共に就学への期待に繋がった。 支援の必要な園児や保護者が増えているため 関係機関との連携がより密に必要となる。

3 学生募集対策と 学生数・学納金等 計画	中期目標	担当責任者 (役職名等)	評価指数（2020～2024）						主な取り組み（2024 年度計画）	2024 年度及び中期計画期間の主な実績・評価等	
				2020	2021	2022	2023	2024			
	・ 3 歳児の入園確保	園長 主幹指導教諭 指導保育教諭	入園者 数	0 歳				6 /6	8 / 6	令和 5 年の入園児数は、234 名の園児数実績。 2024.2.1 現在確定している園児数は、219 名。 これから 2 次募集があるため <u>0 歳,1 歳,3 歳</u> の利 用枠に余裕があるため 3 号認定児ならび満 3 歳 （1 号認定児）は増える予定。 <u>4 歳、5 歳</u> の受け入れは不可能状態。 市広報なか「お知らせ」版へ募集を掲載してい く。 パンフレットを市の子ども課の窓口に置いて頂き 園児募集ならび幼稚園の広報を図る。	共働きや少子化が進み、地域の中で他児と関わ る機会が減少していることから早期入園希望が 多い傾向となってきた。 2024 年度も 220 名でのスタートであったが、 8 月には定員を満たした。 行政との連携により、園見学への促しやパンフ レットも定期的補充が必要な状況となってい る。
				1 歳	12 /12	12 /12	12 /12	24 /23	23 /23		
				2 歳	12 /12	12 /12	12 /12	19 /24	23 /24		
				満 3 歳	10 月入園 14 1 月入園 4	10 月入園 20	10 月入園 17	随時入園 5	随時入園 10		
				3 歳	60 /60	59 /60	61 /60	60 /60	52 /60		
				4 歳	63 /60	61 /60	59 /60	61 /60	60 /60		
				5 歳	59 /60	63 /60	60 /60	59 /60	62 /60		
				合 計	224/204	227/204	221/204	234/233	238/233		
	※ 入園者数/定員の各年度末実績						生き生きとした子どもの活動の様子を学年毎に週 末に積極的に配信し、教育保育内容を知らせ保護 者の信頼を得るために継続していく。 「お知らせ」「感染症」等を小まめに配信し周知 を徹底する。 アンケートを 2 学期後に実施し、結果も公表す る。コロナ禍が 5 類になったことで全ての行事 を元通りにするのでなく再構築して進める。 保育方針や保育内容等への理解を 96%いただい た。ご意見に寄り添、苦情、ご意見、要望を見極 め不満が不審にならないよう改善に取り組み 100%を目指していく。	アプリを利用した写真や動画の配信は、活動の 様子がわかるととても好評である。 「お知らせ」や「感染症」については、保護者 の理解や見落としによる問い合わせも多くある ため、内容や配信の仕方・時間の改善をしながら 進めてきた。 年に 2 回保護者との個人面談を実施しているた め、アンケートは年 1 回、2 学期末に実施。 今年度の回答率は 76%であった。 意見・苦情・要望と様々なため見極めが必要。 意見は真摯に受け止め、改善できるところから 対応し不審とならないよう努めていく。			
	・パンフレット配布, 広報誌掲載,チラシ配 布 ・園だより ・学年だより ・アプリ、ブログ配 信		毎月発行 随時	毎月発行 随時	毎月発行 学期毎 随時	毎月発行 学期毎 随時			毎月発行 学期毎 随時		
・ 広報活動の拡大充実	園長 主幹指導教諭 指導保育教諭 各担任	園長	・ アンケート実施	年 2 回	年 2 回	年 1 回	年 1 回	年 1 回			
・ 学校関係者評議員会 評価委員会の開催			園長 主幹指導教諭	・ 学校関係者評議員 会評価委員会	年 2 回 (3 月は紙 面)	年 3 回	年 2 回	年 2 回	年 2 回	五台小学校長・支援センター長・卒園生保護 者・在園児保護者に依頼し実施。アンケート結 果に助言をいただくと共に情報交換や連携とも 繋がった。	
・ 子育て支援事業の充 実			園長 主幹指導教諭 一時預かり担当 者	・ 「親子広場 ぽぽ」	月 1 回程度 (10 月以降) なし	月 1 回程 度(10 月 以降) なし	月 1 回程 度 年 10 回	月 1 回程 度 年 10 回	月 1 回程 度 年 10 回	「親子広場」「保育室開放」ともブログ等でお 知らせはしているが、在園児保護者からの誘い や口コミからの参加者が多い。 新規参加者の中には満 3 歳入園希望者も多く、 入園へと繋がっているため継続して実施してい く。	
				・ カンガルーにお部 屋（保育室開放） ・ 子育てサロン「お しゃべり」の開催 ・ 体調不良児事業			年 2 回程 度	年 2 回程 度	年 2 回程 度	2023・2024 年と未実施となってしまう。 実施後の配信を痴たてしまい、どのような取り 組みかを保護者へ発信していく必要がある。また 、仕事をしている保護者も多いため、次年度 は年間計画に予定し学期に 2 回実施したい。 看護師が 8 月より復帰、事業再開ができた。 教諭,保護者,園児が安心して生活できている。	

4 人事政策と人材育成、人件費の削減計画	中期目標	担当責任者 (役職名等)		評価指数 (2020～2024)					主な取り組み (2024 年度計画)	2024 年度及び中期計画期間の主な実績・評価等
				2020	2021	2022	2023	2024		
	a)人事政策について ・ 認定こども園認定基準に基づき、適正な教職員の配置	園長	満3歳児担当者の採用		9月2人			4月1人	異動や退職の補充として新卒職員の採用で適正な職員配置でスタートできるが、40人越えの職員構成となり身動きできない状況の回避にフリーの職員を配置していきたい。	新卒者の採用により職員配置に問題はないが、保育内容や質の向上や仕事の効率化を図っていく必要がある。 子育て支援員や障害者雇用の用務員の採用により製作準備や清掃等の仕事軽減は大きい。 しかし、計画立案や記録・日々のトラブルや怪我の対応等、一つ一つ指導が必要なことも多いため、経験ある職員の応募があれば採用を検討していきたい。
	体調不良児職員 (看護師)					1名		満3歳児担当を非常勤で実施するようになりさらに身動きが取れない状態が厳しくなる。	看護師の産休代替は見つからなかったが、本人の希望で育休を取らず8月より復帰。子どもが本園に入園できたことで安心して働くことができている。	
	・短大卒業生採用			4月2人	4月3人	4月4名	4月5名 追加1名	短大より新卒5名の採用。残り経験者を1人採用したいが見つからない現状。 仕事の精選や効率化を図り、定時退勤できる体制を作り、働きやすい職場を目指したい。 短大とより連携し、継続して仕事を続けることの大切さ等の教育の徹底や些細な情報でも早めに共有していく体制をつくっていきたい。		
	ともべ保育園新設による人事交流					1名 額田より	3名 ともべへ	ともべ保育園の開始により中堅職員3名の異動を進め、新しい保育施設の大きな力となることを期待し進める。	中堅職員3名の異動は、若手職員への指導も含め大きな痛手となったが、仕事の見直しや情報交換等、附属園の連携や結束が強まり組織全体として大きな効果があった。	
	・ 学園内での人事交流	園長 主幹保育教諭 指導保育教諭 研修主任	・ 園内テーマ研修と追跡研修の実施 ・ 公開保育・相互保育参観 ・ 外部研修への参加	毎月	毎月	毎月	毎月	毎月	職員の人材育成及び資質向上を目指し、短大教員を講師として招聘して園内テーマ研修と追跡研修の実施の2本立てで計画的に実施していく。 公開保育を定期的の実施し、事後の協議を経て相互理解を深め新人教育に繋げる。	若手職員も多いため共通理解のためにも様々な研修を実施。短大教員との連携により、実践と理論が結びつき実りある研修となった。 また、公開保育には附属園からも多く参加があり互いの刺激となった。
	・ 園内研修の交流 ・ 附属園内交流 体験見学 ・ 附属園内保育の見学体験			随時 夏休み	随時 随時	随時 随時	随時 随時	外部研修への積極的参加を推進する。引き続きキャリアアップ研修の計画的な受講を推進する。	保育の配置を調整し、多くの研修に参加。	
	・ 教員評価の実施							幼稚園の教育時間体制から認定こども園の「教育保育」へ動きを理解するため、他園見学や体験を通して、保育について学ぶ機会を継続的に設け更に、認定こども園である意識を、一人一人がしっかりとめるよう指導計画の見直しにより意識改革を進める。		
			・ 教員評価システム	7,11,2月面談 10,2月自己評価提出	7,11,2月面談 10,2月自己評価提出	7,11,2月面談 10,2月自己評価提出	7,11,2月面談 8,2月自己評価提出	7,11,2月面談 8,2月自己評価提出	教員評価システムの構築を目指し、自己目標や自己評価を実施し公表する。	
								園や学年目標を基に、より具体的で実現可能な目標づくりを進め、面談を定期的の実施する。		

5 経費削減計画	中期目標	担当責任者 (役職名等)	評価指数（2020～2024）					主な取り組み（2024 年度計画）	2024 年度及び中期計画期間の主な実績・評価等
			2020	2021	2022	2023	2024		
	・保育の充実を維持しながら経費の効果的な運用を図る	園長 主幹保育教諭 指導保育教諭 事務						備品管理や消耗品の在庫量確認を行い，無駄をなくす取組を今後も継続して実施する。 お便りのアプリ配信も慣れてきているのでペーパーレスを継続して印刷、用紙の削減を継続。 空調設備の温度管理を行い電気料の削減に努める。	備品や消耗品の在庫の管理を徹底し，コスト削減を図ってきた。 備品の扱い方や無駄のない使い方・SDGs等，職員の意識改革が必要。

6 施設整備計画	中期目標	担当責任者 (役職名等)	評価指数（2020～2024）					主な取り組み（2024 年度）	2024 年度及び中期計画期間の主な実績・評価等
			2020	2021	2022	2023	2024		
	a)2 歳児保育室床暖整備	園長	・2 歳児室床暖			未整備	依頼中	2 歳児保育室は、裸足の生活のため床暖房整備は欠かせないため見積もり依頼中。	2025 年度 5 月に工事予定 予算額 ¥3,300,000 円
	b)排水路及び側溝整備								
	c) 園バス入れ替え整備								
	d)園児用椅子								
	e)LED 交換								
	f)雨漏り補修工事 ・テラス雨避け工事								
	g) 保健室内の整備								
			・園庭の土・砂の流失防止整備		整備に向けた検討	整備に向けた検討 (砂補充済)	整備に向けた検討	雨によって地面が削れ，隣接した田んぼに土砂が流され、園庭に溝ができてしまい園児が遊ぶ園庭とは言えない。今後対策を計画していきたい。	遊具点検で，はん登棒の支柱に腐食が見つかり，2月上旬に撤去した。 また，ドッジボールやリレー等，園庭が広く使えるよう，三角タワーも短大芝生へ移動した。
			・4、5 歳児椅子 120 脚	椅子の奥行きがなく掛けづらい。 痛みがひどく重い椅子。			4,5 月	 	はん登棒・三角タワーのあった場所が雨水の通り道であったため，跡地を用務員に整地を依頼し，様子を見ていく。
			・倉庫,ヤギ室,和室,更衣室,乗務員室				10 月		
			・屋根雨漏り補修工事	6 月工事完了	3 月完了	補修 4 歳保育室 図書コーナー完了	検討	 三輪車が傾く	5 月末に納車完了済。 置き去り防止装置も装備されている。 万が一置き去りが発生した場合の「ここだよボタン」等の機能も付き安全性が高まった。
			・備品整備		3 月工事 保健室 完了			園バスは、購入して 15 年を経過し故障が多く入れ替え時期になっている。23 年度に義務化された通園バスの「置き去り装置」については設置し運用している。¥6,500,000 円	

									<p>開設当初から使用している園児椅子（4,5 歳児用）の痛みが目立っているため教育支援体制整備事業費（1/2）を活用して購入していきたい。120 脚＝¥858,000 円（参考見積）</p> <p>2027 年に蛍光管の販売が終了するため残された部屋を LED に交換していきたい。</p> <p>4 歳児保育室の雨漏りならび図書コーナーは解消され快適に生活できるようになっている。 遊戯室、廊下等の雨漏りは、解消されていないが、雨風の方角によっての雨漏り状態になる。 ※雨漏り＝遊戯室、廊下（強風雨のおり）</p> <p>保健室の整備（整理棚等）については、体調不良児事業補助金を活用して購入をしていきたい。</p>	<p>県の教育支援体制整備事業費（1/2）を利用し購入。3 月納品完了。 各学年 60 名を超えて在籍のため 130 脚＝¥789,360 円（再見積後）</p> <p>保育室は交換が済んでいるが、倉庫等、残された箇所があるため確認して進めていく。</p> <p>4 歳児保育室の雨漏りも雨量，風向きによっては雨漏りとなる。以前ほどの量ではないため引き続き様子を見ていく。</p> <p>布団・着替えの収納棚を購入済。</p>
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---